



茅野市公民館報

茅野市中央公民館 72-3266
茅野市宮川 4552-2

No.701 発行:長野県茅野市中央公民館 編集:広報専門委員会 印刷:株中央企画 発行日:2026年(令和8年)1月1日

ゆきどけ	1
音楽祭・芸能祭・芸術祭報告	2~5
伊勢原市姉妹都市文化交流事業	6
ロビー展・使用者説明会	7
公民館講座受講生募集・諏訪ことば	8



全部、推し。(市民芸能祭 詳細は3ページ)



伝統野菜の良さが見直されている。

それは、長い年月をかけてその地に順応してきた伝統言葉である。最近、「ひいてえじゅう（一日中）」と言う言葉を耳にした。諏訪ことばの一つでアンケート調査では七割近くの人が知らないと答えた難問のようだ。この言葉を聞いたとき、子どもの頃にタイムスリップしたような不思議な気持ちになった。きっと幼い頃、爺様たちが話しているのを聞いていたのかもしれない。

友人がこんな話をしてくれた。ある府県に行つたときのこと、幼稚園の送迎バスから降りてきた園児たちがバスに向かって「ほな、さいなら」と言つたそうだ。この一言で場所が京都だとすぐにわかると思う。友人は、こんな子どもの頃から「京ことば」を普通に使つていると感心していた。伝統的な「物」を残すこと、そしてあまり負荷のかからない「言葉」を残すこと、古いものと新しいものが混在することで住んでいる人の心の豊かさが増す。諏訪ことばもその一つだと思う。柔軟性をもつて使えば豊かなコミュニケーションが生まれると思う。こうしたことで今の若者たちやZ世代には方言が新鮮に映るかもしれない。

さて、新しい年には、我が家ではどの方言を使つて（復活して）みようかな。

「のらぎあ」はもう道を走つてゐるし…。（小泉 進）

市民音楽祭

10月5日、茅野市民館マルチホールにて、24団体が舞台に立ち、日ごろの成果を発表しました。

昨年は15名で出演した永明中吹奏楽部は新入生7名が加わり、成長した姿を見せてくれました。

初参加の茅野カンタービレ・ウインズは、部活

以外でも吹奏楽を楽しみたい！という中学生らが集まり今年度結成したばかりの団体で、少人数ながらとても厚みのある演奏を披露してくれました。

衣装も華々しかったシャンソン愛好会コパン。他にもギター、オカリナ、三味線など、様々なジャンルの音楽を市民が披露し、新しい出会いの生まれる音楽祭となりました。

永明中学校吹奏楽部

茅野カンタービレ・ウインズ



幸の会

シャンソン愛好会コパン

やつがたけ民謡研究会



合奏団“宙”

ヴィヴァ ラ ムジカ

オカリナそらの会



藤栄会

最後は会場中で唱歌「ふるさと」



まきピアノ PTA コーラス部



市民芸能祭

10月12日、茅野市民館マルチホールにて29団体が舞台に立ちました。

糸萱乙女滝太鼓（表紙）をはじめ、初参加の団体が多かった今年の芸能祭では、新体操や阿波踊りなど様々なジャンルの演目を見る事ができました。

「ガツコイイだけがダンスじゃない」と、蓼科ダンス部の発表では来場者も一緒に踊り、楽しいステージとなりました。



茅野ジュニア新体操レインボー R.G.



東海大諏訪高校チアリーディング部



阿波踊り諏訪湖連

ハケ岳泉龍太鼓保存会



蓼科ダンス部
みんな一緒に「オー、シャンデリーゼ」



Step x Friends



アナラレイ フラダンス アロハ



山浦民謡踊り保存会



茅野市木遣保存会

第51回茅野市芸術祭

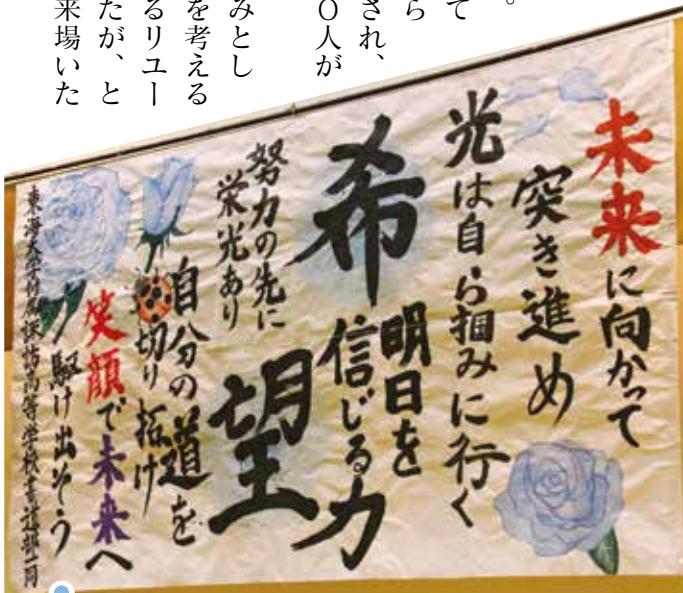
「芸術と文化でつなぐ市民の和」をテーマに、第51回茅野市芸術祭を開催しました。

市内で活動されてる団体、個人から約500点が出品され、5日間で約1300人が来場しました。

今年初めての試みとして、もつたいないを考える茅野の皆さんによるリユース市を開催しましたが、とても大勢の方にご来場いただきました。

昨年に続き市内福祉施設の皆さんにも出展いただき、また展示期間中は鑑賞に訪れていただきました。宮川小学校5年3部の皆さんによるミニコンサートでは、「素敵だつたよ」と声がかかるなど、心温まる場面がありました。

カリグラフィーサークル



東海大諏訪高校書道部から3mを超す大作を出品いただきました



ディサービス茶の間の“ちゃーぼー”展示期間中アイドルでした



3年かかりのシャーベットボック



お茶席



「おいしく飲むことがお作法よ」と
よろづや会



芸術祭では初めての
「帰ってきた環境館 リユース市」

おりがみ体験

NPO 法人サポートCの皆さんによる写真フレーム作り。山と用意された材料をかきわけるだけでもわくわくの体験でした

フレーム作り体験



おりづる茅野の皆さんにより、両面
おりがみでりぼんやハロウィンのか
ぼちゃを制作しました



フラワーアレンジメント体験

ミニコンサート



16団体により、合唱・オカリナ・コカリナ・ハーモニカ・
ピアノ・ギター等の発表を楽しみました



展示作品の中には、3年をかけて作られたものもあり、鑑賞していると「自分も何か始めてみたい」という気持ちがわいてくるようでした。
撤収作業をしながら「来年はどんな作品にしようか」と仲間と話し合っている声も聞こえました。次回も大勢の方に来場して楽しんでいただき、たくさんの方の感動を生むことができるように、準備していくたいと思います。

第39回 伊勢原市・茅野市 姉妹都市文化交流展・交流会



▲両市にゆかりの花を使った迎え花

おおやままい
大山詣りとは？

大山詣りは、鳶などの職人たちが巨大な木太刀きだちを江戸から担いで運び、滝で身を清めてから奉納と山頂を目指すといった、他に例をみない庶民参拝です。

大山詣りは今も先導師せんどうしたちにより、脈々と引き継がれており、日本遺産に認定されています。



▲大山詣り HP

文化交流展

11月11日から18日まで、茅野市中央公民館において神奈川県伊勢原市との第39回姉妹都市文化交流展を開催し、両市あわせて100点近くの作品が並びました。

伊勢原市からの作品の中にストリーナーなど茅野市ではあまり見かけないジャンルのものは、ちりめんで作られたタペは、白樺や市花りんどうを花材として使い、茅野市トルコキキョウ、茅野市の市木である白樺や市花りんどうを花材として使い、茅野市と伊勢原市の文化の融合を表わしていました。

もあり、来館された方はじっくりと眺めっていました。

ロビーでは茅野市華道会による迎え花を展示しましたが、

伊勢原市の市花キキョウに寄せて、茅野市の特産でもある

トルコキキョウ、茅野市の市木である白樺や市花りんどう

▲両市の作品が並ぶ交流展



文化交流会

13日には伊勢原市の文化団体連盟の関係者と伊勢原市教育委員会職員33名をお招きし、茅野市芸術文化協会と情報交換等を行った。交流会を開催しました。

この交流会の後半では、宮川小学校5年3部の皆さんにご協力いただき、

伊勢原市は「大山詣り」が日本遺産に登録されており、この紹介動画を会場にて放映し、多くの来場者にご覧いただきました。

を続けてほしい」などの感想をいただきました。

次回は伊勢原市へ茅野市の作品を運び、茅野市の文化芸術を伊勢原市に紹介してまいります。

おもてなしコンサートを実施しました。元気な歌声を披露してくれた子どもたちに、伊勢原市の方からは「素晴らしい」とたくさん練習して、音楽を続けてほしい」などの感想をいただきました。



▲5年3部によるおもてなしコンサート

ロビー 企画展

会 場 茅野市中央公民館 1階ロビー
開館時間 月～土曜日 午前9時～午後9時30分
日曜日 午前9時～午後5時30分（第3日曜日休館）

「ウクライナの子どもの絵画展」

期 間 令和8年1月9日（金）正午～1月15日（木）正午

内 容 ウクライナの子どもの絵画 約40点



関連して、1月10日（土）午後2時から中央公民館でくるみーずのコカリナのミニミニコンサート、1月12日（月祝）午後1時からゆいわーく茅野3階にて、ウクライナの子どもたちへの支援活動を続けている坂本龍太朗（千曲市出身・ポーランド在住）さんの講演会を行います。

主 催 くるみーず

分館報展

期 間 令和8年1月16日（金）正午～
2月 6日（金）午後3時

※同じものを2月13日（金）正午～2月19日（木）の
期間に茅野市役所1階ロビーでも展示します。

内 容 令和7年に市内各分館で発行された分館報等を展示します。
主 催 茅野市中央公民館・広報専門委員会



公民館等の使用説明会を開催します



文化活動やスポーツ活動など、グループや団体で社会教育活動をされている皆さんのために、茅野市中央公民館・各地区コミュニティセンターの会議室等の使用方法について説明会を開催します。今回は社会教育関係団体として認定されている団体の再登録方法、申請期限等についてもご説明します。各団体1名のご出席をお願いいたします。

（※ゆいわーく茅野は含まれません。直接お問い合わせください）

記

日 程 令和8年1月29日（木）午後2時～・午後7時～、30日（金）午前10時～
※3回開催のうち、いずれか都合の良い日時に出席してください。

会 場 茅野市中央公民館 2階 学習室

内 容 施設使用の方法について・団体の活動について・活動報告について
社会教育関係団体申請（再登録）方法について
宮川地区コミュニティセンターの使用方法について 等

注意事項

- ・団体の代表者が出席できない場合は、代理の方が出席してください。
- ・現在登録されている団体は、認定期限が令和8年4月30日までです。継続して活動する場合は再登録の申請手続きが必要です。新規・再登録とも申請書・会員名簿・会則等の提出が必要です。必要書類は説明会にてお渡しします。
- ・登録が不要となった団体は、説明会に出席していただく必要はありませんが、団体の解散・登録終了届を提出してください。

会員募集 5月発行の公民館報に各団体の会員募集案内を掲載する予定です。
掲載内容は分野、団体名、主な活動日等になります。

問い合わせ先 中央公民館 ☎ 72-3266 Fax 71-1631 E-Mail kominkan@city.chino.lg.jp

公民館講座受講生募集

(キャンセルする場合はできるだけ早めに茅野市中央公民館担当までお申し出ください)

※ 講座を受講するにあたり、手話通訳などを希望される方は申込時にお知らせください。

筋膜リリース＆バレトン講座

●「筋膜リリース」って？

全身の筋肉を包んでいる「筋膜」の萎縮や癒着を軽減し、正常な状態に戻すための方法を「筋膜リリース」といいます。

●「バレトン」って？

裸足で行う、性別を問わないシンプルで簡単なエクササイズです。

バレエ、ピラティス、ヨガやフィットネスの要素を取り入れることで、筋持久力を向上させ、心肺持久力を高める効果があります。

日 時 令和8年2月20日、27日、3月6日、13日（金曜日 全4回）
午後7時～午後8時30分

会 場 茅野市中央公民館3階 体育室

講 師 唐木田 由紀先生（フィットネスインストラクター）

受 講 料 1,000円

持 ち 物 ヨガマット（レジャーマット可）、運動のできる服装（裸足になれる服装）、飲料水、タオル

定 員 18名 **受講資格** 市内在住・在勤・在学者

受付開始

令和8年1月14日（水）
正午～（電話または
インターネット先着順）



▲申込フォーム



お問い合わせ・申込先 茅野市中央公民館 ☎ 72-3266（窓口受付は行いません）

諏訪地域の地震体験を
未来につなげるために
ご協力ください。

昭和19年（1944年）12月7日、南海トラフ沿いの巨大地震「昭和東南海地震」（M7.9）が発生しました。諏訪地域でも各所で被害があつたとされていますが、戦時のため当時の写真や新聞等の公的な記録がほとんど残されていません。

長野県と信州大学教育学部防災教育研究センターでは、今年度、諏訪地域で当時の地震を体験した方の記憶や日記をもとに、被害状況をデジタル地図に復元するプロジェクトを実施しています。

当時のご記憶のある方や、ご家族等から資料を受け継いでいる方のご協力をお願いします。

応募先：茅野市役所防災課
☎ 72-2101（内線182）
※応募票やアンケート用紙は、中央公民館でも配布中
お申し込み可能です
こちらからも↓

それだから

（ほんとうは正月は太ります）



ほんとうは正月は
太ります

おせちやお雑煮にもやっぱり
郷土の特色が出るのでしょうか。

し
知らなかた！
諏訪ことば

⑨

協力：八ヶ岳総合博物館、
国立国語研究所
「市民科学」プロジェクト

△諏訪ことば
知ってる？使う？
アンケート実施中

